

クローズアップ2

58年の幕閉じる 高槻現代劇場 市民会館

問 歴史にぎわい推進課
Tel.674-7393

1964年の開館以来、高槻の文化の発信拠点としてたくさんのイベントでにぎわい、皆さんに愛された市民会館は、58年の思い出を残し、7月に閉館します。



約1,500人収容できる大ホールでは、公演や式典、発表会、映画鑑賞など、ビッグイベントを数多く開催。駅近でアクセスが良く、近隣市からも多くの方が来場し、市の文化発信の拠点として長く愛されてきました。

市民会館のすこさ



設立当時の外観

① 府内有数の本格劇場

1964（昭和39）年の設立時は府内有数の大劇場として話題を集めた市民会館。美空ひばりや矢沢永吉、安藤忠雄や瀬戸内寂聴など数々の著名アーティストや文化人がステージに立ちました。

② 市民に愛される

現在も年間約40万人以上が利用し設立当時から市民に愛される会館。当時の広報紙には開館から2年ほどで1,500組が結婚式を挙げた記録も。成人式や結婚式で思い出に残っている人も多いのでは。

TOPIC1 思い出エピソード

皆さんは市民会館にどんな思い出がありますか。寄せられた思い出エピソードの一部を紹介します。
※昨年12/21～2/25に募集。7/31(日)まで市民会館2階ロビーで展示



(1964年)

竣工記念コンサートとして、第一・第三・第四中学校合同で演奏



(1965年)

私の結婚式の集合写真です



(1972年)

高槻市音楽団管楽部第3回定期演奏会。吊り看板など皆で手作りし、プログラムもガリ版刷りだったので懐かしいです



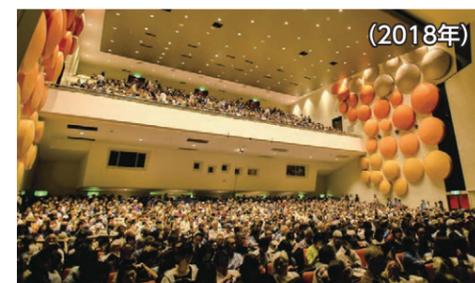
(1977年)

小学1年生。初めての発表会の舞台にど緊張したけど、本番後、一緒に通った幼馴染のお友達とパチリ。のちに中ホールが立つ敷地の前で



(2017年)

日本の郷土芸能として高槻でも大人気の和太鼓演奏。早春恒例のたかつき和太鼓フェスティバルには毎年多くの方が大ホールに来場されました。2017年には東日本大震災で被災された陸前高田の和太鼓チームを招いて交流演奏会も実施し、満員の会場は熱気に包まれました



(2018年)

1999年に始まった高槻ジャズストリート。第20回記念の年は3日間開催。例年以上の大勢の人で賑わった



(2020年)

祖父母が結婚式を挙げたこの現代劇場で55年後、孫の私が成人式に参加し、当日は家族が会場までかけつけてくれました。写真の両端に写っているのが祖父母です



(2022年)

高槻市内を拠点に20～60代のメンバーで演劇活動をしています。2015年から毎年、305号室を劇場にして作品の上演をしてきました。305号室はたくさんの挑戦をさせていただいた思い出の場所です

TOPIC2 市民会館ウラ話

私が案内します



(公財)文化スポーツ振興事業団
南部光恵さん

小学生時代から市民会館を利用し、1989年から同館に勤務。著名アーティスト、古典芸能、演劇、さらに若手演奏家の起用など、あらゆるジャンルを手掛け、イベントを成功させてきた。高槻の芸術文化の発展を支える敏腕コーディネーター

大ホールの他、結婚式場や集会室などたくさんの思い出が詰まった市民会館。館内を知り尽くしたスタッフがウラ話をご紹介します。



開館当時から変わらない木製の2階席。1階と比べて前後左右の幅が少し狭い。



舞台裏の通路は、演者やスタッフがぶつけたであろう傷跡が。その一つ一つには隠れたドラマが。



まずは大ホールから

実は改装・改築を重ねてきた館内。照明、内装、トイレなどアチコチよく見ると変遷がわかります。かつては入り口付近に喫茶室もあったんです。



ミラーボールが残る部屋。当時は披露宴会場として参加者を照らしていたのでしょう。



披露宴や集会、社交ダンスの会場などで、よく利用されてきた、少し高級感のある部屋。



平成21年を最後に眠る映写機。ここからフィルム上映していたんですね。



かつての結婚式での花嫁の準備・控室。鏡やカーテンの名残りが当時をしのばせます。今はホール利用者の楽屋として活用しています。

南部さんが手掛けたイベント



晩年を高槻で過ごされたクラシック音楽界の巨匠故ゲルハルト・ボッセさん指揮によるオーケストラ公演は12回を数え、その後も才能ある若い指揮者を迎え継続しています。小中学生と家族招待の取り組みもあり幅広い世代の方が熱心に聴いてくださる様子を感じてきました(写真左)。

また手掛けた多数のイベントの中でも、瀬戸内寂聴さんの講話に耳を傾ける大ホールいっぱいのお客様の姿が忘れられません(写真右)。

TOPIC3 クロージング

最後に市民会館大ホールへ足を運んでみませんか。一緒にクロージングを楽しみましょう。

問合 高槻現代劇場/TEL671-9999 ※原則月曜は休館

申込 ウェブ申込、電話、窓口で(☆を除く)

※各公演の詳細、チケット購入などは同劇場HPへ(右QRコード)



歌でめぐる大ホールの思い出 ～1964年オープンから未来へ～

多くの人気歌手が立った大ホールステージで懐かしい曲の数々。終演後には舞台上に立てる見学会も ※2歳以下不可
曲目 メドレー(キャンディーズ、美空ひばり)／君は薔薇より美しい(布施明)／天城越え(石川さゆり)／心の瞳(坂本九)／また逢う日まで(尾崎紀世彦) ほか

料金 1,500円 ※高槻文化友の会会員無料

大阪フィルハーモニー 交響楽団 演奏会



交響曲「運命」「田園」
指揮 石川征太郎
日時 6/4(土)15:00～
料金 3,500円 ほか
※未就学児不可

そよかぜ コンサート



高校生の吹奏楽演奏会
日時 6/19(日)14:00～
料金 無料 ☆

混声合唱組曲 摂津峡讃歌 演奏会



市民の合唱コンサート
日時 7/24(日)14:00～
料金 1,000円
発売 5/24(火)から

Takatsuki Earnest Dancers Vol.13



高校ダンス発表会
日時 7/26(火)13:00～
料金 1,000円
発売 6/24(金)から



みんなでフィナーレ★大ホール ～ピアノの魔術師とともに～

1964年の開館以来さまざまな催しや活動でにぎわった市民会館最後のステージでたくさんの感動や笑顔をご一緒に。

共演 高槻市少年少女合唱団(指揮 国久昌弘)

料金 無料

申込 5/3(祝)～31(火)にウェブ申込、はがきで(住所、参加者全員の氏名・電話番号記入) ☆

※1人1件4人まで

新たな舞台の幕開け 次の世代へ

58年の間、本市の芸術・文化の発信拠点として、市民の皆さんやアーティスト、文化人から愛された市民会館が、7月に幕を閉じます。大ホールでの公演の鑑賞や舞台出演、成人式、あるいはサークル活動や結婚式など、たくさんの感動と笑顔とともに、素敵な思い出を持つ方も多いのではないのでしょうか。

しのびながら市民会館は閉館しますが、来年3月には「高槻城公園芸術文化劇場」が新たに誕生します。市民の皆さんに大切にされてきた市民会館の思いを引き継ぎ、新たな舞台の幕が開けるのです。

次の世代、未来の高槻の芸術・文化の発展を願い、新劇場にどうぞ期待ください。



高槻市長 濱田剛史